

第29期決算公告

2023年6月26日  
 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号  
 株式会社フージャースコーポレーション  
 代表取締役社長 小川 栄一

貸借対照表

(2023年3月31日 現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>64,739</b>	<b>流動負債</b>	<b>19,216</b>
現金及び預金	16,526	電子記録債務	2,347
営業投資有価証券	198	支払手形	352
販売用不動産	3,830	買掛金	1,179
仕掛販売用不動産	39,838	短期借入金	3,879
前渡金	507	1年内償還予定の社債	100
前払費用	1,283	1年内返済予定の長期借入金	4,869
その他	2,563	未払金	1,014
貸倒引当金	△9	未払費用	28
<b>固定資産</b>	<b>9,514</b>	未払法人税等	1,158
<b>有形固定資産</b>	<b>6,828</b>	前受金	3,479
建物	4,208	預り金	585
構築物	113	前受収益	37
工具、器具及び備品	24	賞与引当金	159
土地	2,481	アフターサービス引当金	24
<b>無形固定資産</b>	<b>1</b>	<b>固定負債</b>	<b>32,952</b>
ソフトウェア	1	社債	750
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,684</b>	長期借入金	28,943
投資有価証券	8	関係会社長期借入金	3,036
関係会社株式	1,964	役員株式給付引当金	48
繰延税金資産	408	資産除去債務	134
その他	307	その他	40
貸倒引当金	△3	<b>負債合計</b>	<b>52,169</b>
		<b>純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>22,084</b>
		資本金	2,400
		資本剰余金	50
		その他資本剰余金	50
		利益剰余金	19,634
		利益準備金	600
		その他利益剰余金	19,034
		繰越利益剰余金	19,034
		<b>純資産合計</b>	<b>22,084</b>
<b>資産合計</b>	<b>74,253</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>74,253</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(自：2022年4月1日 至：2023年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		46,815
売 上 原 価		34,799
<b>売 上 総 利 益</b>		<b>12,016</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,153
<b>営 業 利 益</b>		<b>5,862</b>
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	0	
解 約 金 収 入	49	
関 係 会 社 貸 付 金 利 息	19	
そ の 他	48	118
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	338	
社 債 利 息	2	
関 係 会 社 借 入 金 利 息	15	
支 払 手 数 料	129	
そ の 他	6	493
<b>経 常 利 益</b>		<b>5,488</b>
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	0	0
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		<b>5,488</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,622	
法 人 税 等 調 整 額	54	1,676
<b>当 期 純 利 益</b>		<b>3,811</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券（営業投資有価証券を含む）

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

なお、匿名組合への出資金、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

#### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ 時価法

ただし、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、特例処理によっております。

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産及び仕掛販売用不動産 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物（建物附属設備を除く）・・・定額法

その他・・・定率法

なお、主な耐用年数は、建物6～47年、構築物15～25年、工具、器具及び備品3～10年であります。

2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。

役員株式給付引当金 取締役株式給付規程に基づく当社取締役への当社株式の交付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

アフターサービス引当金 分譲・販売した物件のアフターサービスによる費用支出に備えるため、過去の実績に基づき発生見込額を計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は、以下のとおりであります。

#### (1) 不動産開発事業

主に新築分譲マンション及び新築戸建住宅の開発・販売を行う事業であります。

新築分譲マンション及び新築戸建住宅を顧客との契約に基づき、引き渡すことを履行義務としております。履行義務は、物件の引き渡しにより充足されるものであり、当該引渡時点において収益を認識しております。

## (2) 不動産投資事業

賃貸マンション、中古オフィスビル等を取得し、リーシング並びにリノベーション等により資産価値を高めた後、投資用不動産として個人及び事業会社等へ販売する事業であります。

収益物件の販売においては、顧客との契約に基づき当該物件を引き渡すことを履行義務としております。履行義務は、物件の引き渡しにより充足されるものであり、当該引渡時点において収益を認識しております。

## 5. その他計算書類の作成のための基本となる事項

### (1) 消費税等の会計処理

資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用として処理しております。

### (2) グループ通算制度の適用

当社は、当事業年度より(株)フージャースホールディングスを通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

### (3) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、当事業年度から連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

## (貸借対照表に関する注記)

### 1. 担保に供している資産及び担保に係る債務の金額

担保に供している資産

販売用不動産	2,748 百万円
仕掛販売用不動産	26,854 百万円
建物	3,680 百万円
構築物	110 百万円
土地	2,171 百万円
合計	35,565 百万円

担保に係る債務の金額

短期借入金	2,971 百万円
1年内返済予定の長期借入金	3,529 百万円
長期借入金	20,765 百万円
合計	27,266 百万円

### 2. 有形固定資産の減価償却累計額

1,285 百万円

なお、減価償却累計額には減損損失累計額が含まれております。

### 3. 保証債務

金融機関からの借入に対する債務保証

株式会社フージャースアセットマネジメント 444 百万円

#### 4. 関係会社に対する金銭債権又は金銭債務

区分表示されたもの以外で当該関係会社に対する金銭債権又は金銭債務の金額は、次のとおりであります。

関係会社に対する金銭債権	19 百万円
関係会社に対する金銭債務	66 百万円

#### (追加情報)

有形固定資産から仕掛販売用不動産への振替

保有目的の変更により、有形固定資産の一部を仕掛販売用不動産に振替いたしました。その内容は以下のとおりであります。

仕掛販売用不動産	301 百万円
----------	---------

#### (税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	棚卸資産評価損	171 百万円
	減損損失	76 百万円
	未払事業税	57 百万円
	賞与引当金	48 百万円
	資産除去債務	41 百万円
	減価償却超過額	9 百万円
	アフターサービス引当金	7 百万円
	その他	66 百万円
	<hr/>	
	繰延税金資産合計	478 百万円
繰延税金負債	既存建物除却損	29 百万円
	負債調整勘定	2 百万円
	その他	38 百万円
		<hr/>
	繰延税金負債合計	70 百万円
繰延税金資産の純額		<hr/> <hr/>
		408 百万円

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	(株)フージャースホールディングス	被所有直接(100%)	経営管理等役員の兼任 出向者の受入	剰余金の配当	5,000	—	—
				資金の回収	5,000	—	—
				貸付利息	19	—	—
				資金の借入	3,036	関係会社 長期借入金	3,036
				借入利息	15	—	—
				債務保証の受入	7,041	—	—
				担保の提供	1,494	—	—

(注) 1 取引条件及び取引条件の決定方針等

(株)フージャースホールディングスへの貸付及び借入に対する金利については、市場金利に基づき決定しております。

2 債務保証の受入については、当該会社による当社の借入金に対する連帯保証であります。なお、保証料の支払は行っておりません。

3 担保提供については、金融機関の借入に対して担保の提供をしています。

4 重要性の乏しい取引については、その記載を省略しております。

2. 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	(株)フージャースケアデザイン	—	役員の兼任 不動産の賃貸	債務保証の受入	939	—	—
				担保提供の受入	939	—	—
親会社の子会社	(同)HR1	—	—	資金の借入	1,413	長期借入金	4,103
				資金の返済	670	前払費用	54
				借入利息	62	長期前払費用	11
				担保の提供	4,103	—	—

(注) 1 取引条件及び取引条件の決定方針等

(同) HR 1 からの借入に対する金利については、市場金利に基づき決定しております。

2 担保提供については、金融機関の借入に対して担保の提供をしています。

3 重要性の乏しい取引については、その記載を省略しております。

**(1株当たり情報に関する注記)**

1. 1株当たり純資産額

69,987 円 11 銭

2. 1株当たり当期純利益

12,079 円 97 銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算書上の当期純利益	(百万円)	3,811
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	—
普通株式に係る当期純利益	(百万円)	3,811
普通株式の期中平均株式数	(株)	315,556